

目指せ! ネットエスパー

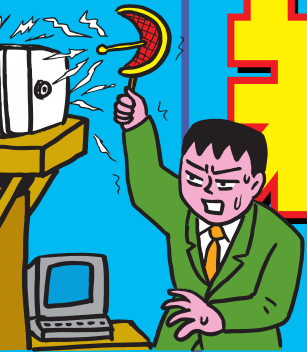


インターネット 新検索術

インターネットの中に
潜む膨大な情報
たち。そこから欲しい
ものを見つけ出し
て活用するには、

もはや1 検索サイトだけでは役に立たない。ネットの海を自在に泳ぎ、必要な情報をすぐ取り出し活用する、そんな「ネットエスパー」に変身すればインターネットの利用価値は無限大になる。この連載で「ネットエスパー」に変身するスタートを切ろう!

二木麻里 (ARIADNE 運営) ariadne.ne.jp
Illust: Ebisu Yoshikazu



第6回 絵画を探す

インターネットにアップされている膨大な情報は、もちろん文字だけではなく、急速に充実してきたサウンドやグラフィックは、この仮想空間を豊かにしているマルチ情報群

だ。まだ動画は重い環境の人が多くけれど、いわゆるホームページ用のフリー素材はすっかりおなじみになった。アイコンなどのクリップアートをダウンロードして使っている方

も多いだろう。検索サイトで素材集をたどれば比較的簡単に見つかる。しかし、資料価値の高い古典絵画や写真作品はどう探せばいいのだろうか?

1 LYCOSで聖母マリアは見つかるが

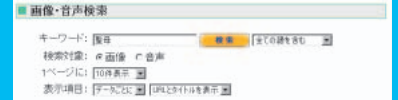
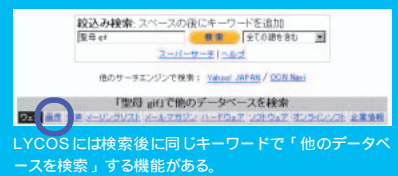
「ねえカズ君、あたしも自分のウェブページって作ってみたいんだけど」と同僚のマリアちゃん。「へえ、いいじゃない」「あたしの名前にちなんでマリア様の絵を集めたページにしようと思うの。ぴったりでしょ? 聖母マリア」「う……うん」「それで、そういうのってどこにあるの?」

「絵画なら美術館のサイトに行けば?」と答えかけてカズ君は黙った。1つずつ美術館を当たるなんてきついな。ほとんど聖母巡礼だ。でも「マリア」で検索したって、文献や人名が大量に出てくるだろうし……。そうだ、画像なら拡張子は「gif」や「jpg」だろう。まずこれで試してみては?

とりあえず検索サイトのLYCOS Japanに行ってみる。「聖母 gif」で調べると検索結果は73件。だがヒット内容の解説文を読む限り、アニメなどのファンクラブが多そう。なるほど聖母にもいろいろある。探すの

が鳥や犬の絵ならこれで結構出てくるだろう。ぶつぶつ言いながらスクロールしていくと、ページの下に「画像」や「音声」といったオプションが。へえ、こういうのもあるんだ。「画像」をクリックするとキーワード「聖母 gif」では2件出てきた。だが残念、リンク切れた。

戻ってLYCOSのトップページの上部にある「画像音声」というオプションから改めて画像を指定し、「聖母」だけを試す。今度のヒットは21件。中にはレオナルド・ダ・ビンチのいわゆる「カーネーションの聖母」もあった。だが見本に近い小サイズで解像度も低い。聖母像といえば典型的な西洋絵画だ。日本語圏で一次資料が上がってくるのを期待するほうがいけないかも。どれほどパワフルな検索機能で探そうと、存在しない資料は出てこない。カズ君はあっさり検索サイトの海外版へ移動した。



LYCOSはトップページからも「画像音声」などのデータベースを指定できる。

LYCOS Japan
 www.lycos.co.jp
LYCOS Japan 画像・音声検索
 www.lycos.co.jp/picture_sound/

2

英語サイトの画像サーチを試す

では「画像サーチ」のできる英語検索サイトはどこだろう？ こういう限定された問いにはあらかじめ情報を取捨選択して登録しているディレクトリー型の検索サイトが楽だ。たとえばアメリカのYahoo!で「image search」と入力すると「Search Engines > Images」のカテゴリが見つかる。クリックすると、Alta VistaやLYCOSの画像検索機能など6個があっさり出てくる。この中の「LYCOS MultiMedia Search」は1700万件以上のデータベースだという。音声や動画などのカテゴリが分かれていて一括検索もできる。今は「Pictures」をチェックし、聖母マリアの直訳「Virgin Mary」で

検索する。結果は436件。ヒット内容を見ると聖母教会の写真がずいぶんあるが、絵画もかなり含んでおり、十分使える。

これはほかの検索サイトも並行して試してみる価値がありそうだ。競争の激しい検索サイトの分野でLYCOSがこれだけ充実しているなら、ほかの大手サイトも類似の機能で競っていないはずがないからだ。これはインターネットの状況からの「読み」である。実際、同じくYahoo!から引き出した「AltaVista Image Search」で「Virgin Mary」は17,427件出てきた。解説はLYCOSのほうが詳しい印象がある。

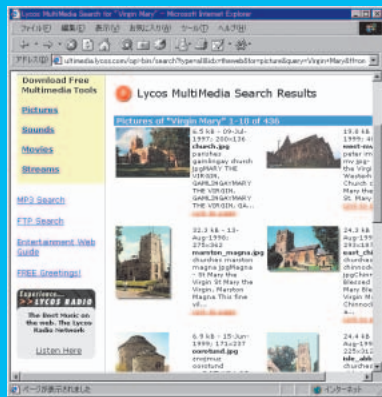
参考までに、Yahoo!にも「Image



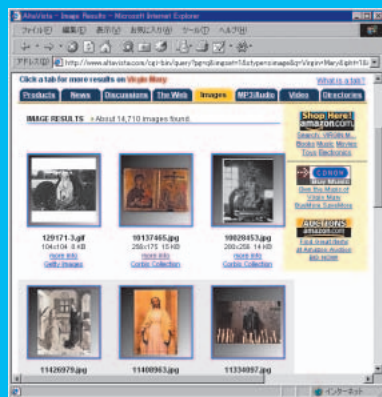
Surfer」がある。カテゴリ別で整理されており、たとえば「Arts」には建築や風景、油彩などの項目が並んでいる。

こうした検索サイトでは聖母像の絵画のほかに、教会内部の写真やマリア像が掲載された本のスナップなどもヒットする。ファイル名に該当する単語があればリストされるのだから、内容的に多彩といえば多彩だが玉石混交の観があるのも確かだ。

- Yahoo!
- Jump www.yahoo.com
- LYCOS Multimedia Search
- Jump multimedia.lycos.com/
- AltaVista Images Search
- Jump www.altavista.com/cgi-bin/query?mmdo=i6&styp=siimage
- Yahoo! Image Surfer
- Jump ipix.yahoo.com



LYCOS Multimedia Searchの検索結果。



AltaVista Images Searchの検索結果。

今月の「ここも探せ！」 美術の総合案内リソース

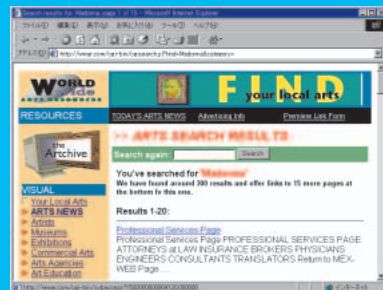
特定のファイルや絵画のものだけではなく、さらに深く広く美術情報を知りたいときに頼れるリソースはないだろうか？ ここでは総合的な美術資料の巨大ゲートウェイ「ワールドワイド・アートリソース集」をご紹介します。ほとんどここですべて間に合うかもしれないという大コアサイトである。

ある画家を調べたいとき、ある絵画を見つけないとき、ある地域の美術史の資料を読みたいとき、また美術関連のニュースまで、どれもここからアクセスできる。絵画だ

けではなく舞踊や演劇、考古学といった広い領域のリソースをカバーしているし、何より検索機能があるので、美術専用検索サイトとしても使い込めるだろう。

なお西洋美術だけでなく、広範な地域の資料をたどれることも記しておきたい。アフリカ美術や東洋美術にも多くのリンクがあり、現代アートももちろんある。たとえばここで「Madonna」を検索すると、古典絵画の聖母像だけでなく、歌手のマドンナを扱ったアート関連リソースなどを含め、さまざまな関連資料がずらりと300件ほど出

てくる。実にアクチュアルな「生きた美術事典」だ。



World Wide Arts Resources
Jump www.war.com



3 「量」のサイトから「質」のサイトへ

汎用検索サイトからたどる画像資料でも情報の「量」はそれなりに得られる。だが量の次は別のルートで「質」を確保したい。聖母マリアなら「これぞ本命」という決め手の画像を入手するにはどうすればいいだろう？ 自分が絵画の専門家でも自力で選り抜ける自信があればよいが、そうでない限りクオリティーサイトを探すほうがずっと快適だ。

ちなみに前ページのYahoo!で6件見つけたサイトのうち、2件は検索サイトだが4件は違った。その時点でリソースの種類を見分けておくとよい。たとえば2つ目の

「Arthur」にはこう解説があった。「精選ウェブサイトの画像と附記テキストを5つのデータベースに編成、検索します」。有望そうだ。

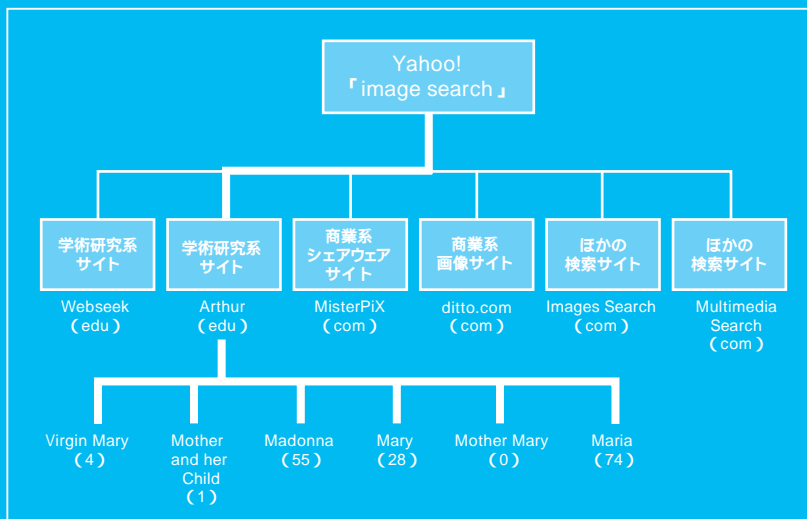
さらにブラウザの機能上可能であれば、ジャンプする前にそのサイトのURLについて調べると労力が少なくてすむ。URLは、リンクの上にマウスの矢印を載せると、ブラウザの下部にリンク先のURLが次々出るので簡単にわかる。Arthurの場合は、「http://www.isi.edu/cct/arthur/」とある。「edu」は「エデュケーションル」、つ

• Arthur (ART media and text HUB and Retrieval System) - search images and associated text of selected websites organized into five databases.

http://www.isi.edu/cct/arthur/

ステータスバーのURLに注目。

まり学術教育機関を意味するドメイン名だから、研究的なものだと見当がつく。ちなみにYahoo!で見つけた6つのサイトのうち、eduは2本、あとは商業系のサイト「コマーシャル」を意味する「com」だった。今回は基本的に古典的な題材の芸術系画像だから前者を優先する。



さて、Arthurは5種類のデータベースからなる学術的画像サーチで、解説文も一緒に引けるらしい。実際に持っている画像の領域はまだわからないが、どの分野であれ本格的なデータベースは1つ構築するだけで非常な負担になる大作業である。それが5つ連結されているのだとすれば、これは一大コアサイトの可能性もある。

行ってみると、古典絵画を飾った表紙に迎えられる。サイトの解説によれば、米国NECによる画像サーチシステム「AMORE」を使用しているという。「USE ARTHUR」のリンクはアクセスできないが、「AMORE」を直接クリックしてみると、アート、映画、スポーツ、旅行、乗り物、野生動物などの項目がある。サンプル画像の横の「Similar」

をクリックすればその類似画像を探してくるほか、キーワードで検索もできる。これはすごい。データベースが大きいだけに、ここまで緻密な検索システムが組まれているのは珍しい。

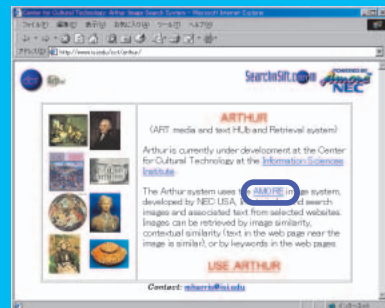
Arthurを運営しているのは南カリフォルニア大学の情報科学研究所ISIだ。研究機関と民間企業の提携で獲得したクオリティーなのだろう。

Arthur (ART media and text HUB and Retrieval System)

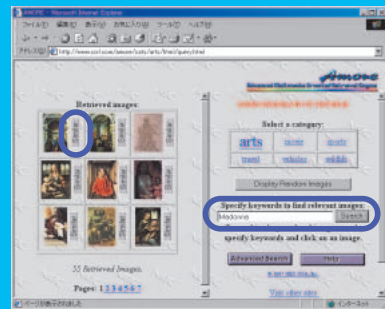
www.isi.edu/cct/arthur/

AMORE

www.ccril.com/amore/



Yahoo!で見つけたArthur。このページの「AMORE」をクリック。



「arts」をクリックし、「Madonna」を検索。



画像の横の「Similar」をクリックした結果。

こういうサイトはじっくり試すことをおすすめしたい。キーワードもこれまでの「Virgin Mary」だけでなく、類語を次々入れてみる。聖母マリアにはさまざまな異名があるからだ。「マドンナ」と呼ばれるのは有名だが、「聖母子像」や単に「マリア」「聖マリア」などなど、手元に類語辞典があれば調べるのもよい。データベースの質が高い

ことを期待できる場合は、そこから最大限の情報を引き出せるようあの手この手で取り組む。そして実際に楽しい、豪華な美しい画像が贈り物のように次々に現れるのだから。

数種類の検索結果は次のようになった。「Madonna」で調べると55点も出てくるとわかる。

Virgin Mary	4
Mother and her Child	1
Madonna	55
Mary	28
Mother Mary	0
Maria	74

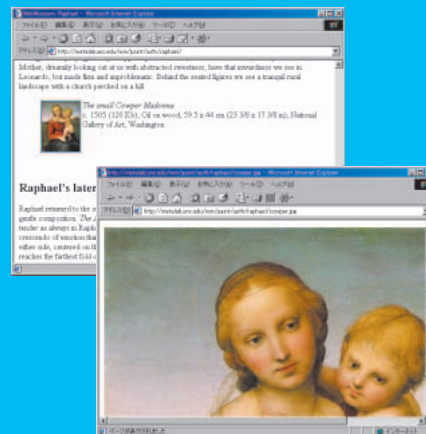
4 ヒット結果から逆をたどる

ArthurのAMOREで検索した画像ファイルはウェブ上できわめて広範にわたっていた。これは「地上の美術館」などを基盤に持ち、ファイルを蓄えているサイトだけでなく、外部リンクを活用したパブリックメイン・ベースのサイトもデータベースに入っているためだ。そうすると逆に、ここに上がってきた多様なソースから「良質の絵画ファイル」を備えたサイトをたづねられることになる。クオリティーを重視するならばぜひおすすめだ。

たとえば「母子像」(Mother and her Child)で検索して1点のみヒットしたのはラファエロの聖母子像だが、これは「WebMuseum, Paris」にあった。あまりにも有名なバーチャル美術館で、「General

Exhibitions」では約200名の画家の作品を掲示しており、絵画様式の用語解説などもある。探し出した絵画をきちんとした解説とともに紹介したい場合は、こういう資料がたいへん参考になる。

というわけですっかり聖母通になったカズ君。さっそくマリアちゃんに教えてあげたのはもちろんだ。「たとえばこのMother Maryなんかマリアさま大好きって感じで聖母像だらけのページだよ。サイト作ったらリンク張れば?」「え、やだ。もうそういう作ってる人いるんだ」「それはいるよ、世界中に」笑ってしまったからふと見ると、じっと黙ってしまったマリアちゃん。「……あたしだけだと思ってたのに」そ、そんなに説まなくても。



WebMuseum, Parisにあるラファエロの聖母子像と解説

WebMuseum, Paris
[Jump metalab.unc.edu/wm/](http://metalab.unc.edu/wm/)
 Mother Mary
[Jump www.geocities.com/SoHo/Gallery/2561/index3.html](http://www.geocities.com/SoHo/Gallery/2561/index3.html)

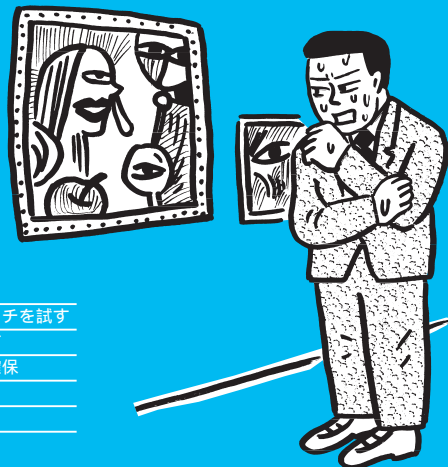
5 今月のポータルキット

汎用検索サイトを引いてうまくヒットしないとき、「自分の引き方がへただから」とは考えないでおこう。「このサイトってだめ」ということでもないけれど、その情報がネット上になければ、どうしても引っかかってはこないのだから。基本的に探し物は「欲しい情報からできるだけ近いところ」からスタートするのが理想に違いない。つまり「あのあたりにありそう」という領域の見当がつけば、その探し物はもう半分成功したようなもの。日本語検索サイトには、あふれる英語情報から身を守るよさがあるけれど、西洋文化の伝統に深く根ざした情報を探すなら、やはり地元に関くのが早いというふう

に、どこを探しても欲しい情報がない? それは素晴らしいチャンスだ。なぜって、あなたがネット上で最初の発信者になれる領域だろうから。

1	導入	日本の汎用検索サイトを調べ、画像サーチを試す
2	比較	西洋圏の検索サイトで画像サーチを試す
3	判断	ヒットを分析し、専門データベースを確保
4	熟練	クオリティーサイトはじっくり使い込む
5	展開	関連情報をたどれる美術総合サイト

二木麻里(ふたきまり)
 上智大学外国語学部卒。翻訳家。社会・人文科学系の国内外資料を案内した総合サイトARIADNEを運営。自著に『思考のためのインターネット』(筑摩書房ちくま新書)など。





[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp